

縦覧用

業務番号 営委三八八第3205号
業務名 八戸工業高等学校（特別・普通教室棟）改築地質調査業務委託
業務委託仕様書

財務部財産管理課
令和8年9月

現 場 説 明 書

- | | | |
|---|-------|------------------------------|
| 1 | 業務番号 | 営委三八八第3205号 |
| 2 | 業 務 名 | 八戸工業高等学校（特別・普通教室棟）改築地質調査業務委託 |
| 3 | 業務場所 | 八戸市江陽一丁目 地内 |
- 「■」印または「□」印のついたものについては、「■」印の付いたものを適用する。
- 4 一般事項
- (1) 設計図書に対する質問事項がある場合は、以下の対応とする。
質問書を10月7日 12時00分までにメールにて財務部財産管理課
[kenchikueizen@pref.aomori.lg.jp] に提出
回答書を10月9日 12時00分までにメールで回答
質問がない場合は提出不要とする。質問への回答がある場合のみ、全者に対して通知する。
質問書提出以外の問合せ（電話、来所等）には対応しない。
- (2) 業務上の留意事項
・本業務の実施に伴う周辺道路、建築物、工作物等への損傷に対する復旧や、補償などに要する費用は、すべて受注者の負担とする。
・現場周辺の道路における通行者等の安全に充分留意をし、付近住民への迷惑行為のないよう配慮すると共に、TV受信障害の苦情に対しては速やかに調査員と協議すること。また、近隣との相互理解に努め、発注者と連絡を密にし、付近の住民に対して誠意と責任のある対応をすること。
- (3) 暴力団員等による不当介入に対する通報・報告義務
受注者は、受注者及び下請負者等に対して暴力団員等による不当介入があった場合は、警察及び発注者へ通報・報告しなければならない。また、警察の捜査上必要な協力を行うものとする。
- (4) 委託料に対する各年度の支払限度割合
令和8年度 100 %
令和9年度 %
令和10年度 %
- (5) 業務実績情報（PUBDIS）の登録について
■ 不要
□ 要
受注者は、公共建築設計者情報システム（PUBDIS）に「業務カルテ」を登録する。なお、登録に先立ち、登録内容について調査職員の確認を受ける。登録完了後、業務カルテ受領書の写しを調査職員に提出する。
- (6) ワンデーレスポンスの実施について
本業務は、ワンデーレスポンス実施対象業務である。「ワンデーレスポンス」とは、受注者からの質問、協議への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。
発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。
- (7) ウィークリースタンスの推進について
本業務は、受発注者協力のもと、建設業の働き方改革推進のため、ウィークリースタンス等の推進を図ることとし、下記の事項について業務着手前に受発注者間で共有し、業務を進めていくこととする。
・打合せ時間の配慮：打合せは、勤務時間内に行う。
・資料作成依頼の配慮：資料作成依頼は、休日等に資料を作成しなければならない状況が発生しないよう十分に配慮する。
・ワンデーレスポンスの再徹底：問合せに対して、ワンデーレスポンスを徹底する。

(8) 適用基準

- 青森県営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン（令和4年4月）
- 営繕工事写真撮影要領（令和5年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修
- 工事写真撮影ガイドブック（令和5年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

(9) 情報共有システムについて

本調査業務委託は、情報共有システムを利用する。

(10) 国土地盤情報データベースへの登録について

受注者は、特記仕様書で地盤情報を「国土地盤情報データベース」に登録しなければならない場合は、地盤情報を「一般財団法人国土地盤情報センター」の検定を受けた上で登録する。受注者は、地盤情報の公開・利用の可否について、青森県電子納品運用ガイドラインに基づき、事前協議における発注者の指示に従って成果品データに「公開可否コード」を記入した上で、検定の申込を行うこととする。

なお、検定に要する費用は、直接経費に「国土地盤情報データベース検定費」として計上し、諸経费率算定の対象額としない。また、受注者は、電子納品の際に、一般財団法人国土地盤情報センターから受領した検定証明書（PDFファイル）を、青森県電子納品運用ガイドラインに規定されている格納フォルダBORING/OTHRsに格納することをもって、提出する成果が検定済であることを報告することとする。

(11) 管理技術者（特記仕様書の「地盤調査に係る十分な能力を有する者」）は、下記の者とする。

技術士（総合技術監理部門（選択科目：建設-土質及び基礎、又は応用理学-地質）又は建設部門（選択科目：土質及び基礎）若しくは応用理学部門（選択科目：地質））、国土交通省登録技術者資格（資格が対象とする区分（施設分野-業務）は特記仕様書による）、シビルコンサルティングマネージャ（以下「RCCM」という。）の資格保有者又はこれと同等の能力と経験を有する技術者であり、日本語に堪能（日本語通訳が確保できれば可）でなければならない。

なお、業務の範囲が現場での調査・計測作業のみである場合、又は内業を含み、かつその範囲が次の場合、地質調査技士又はこれと同等の能力と経験を有する技術者を管理技術者とすることができる。

ア 既存資料の収集・現地調査は以下による。

- (ア) 関係文献の収集と検討
- (イ) 調査地周辺の現地調査

イ 資料整理とりまとめ

- (ア) 各種計測結果の評価及び考察
- (イ) 異常データのチェック
- (ウ) 試料の観察
- (エ) ボーリング柱状図の作成

ウ 断面図等の作成

- (ア) 地層及び土性の工学的判定
- (イ) 土質又は地質断面図等の作成。なお、断面図は着色するものとする。

質 問 書 (全〇枚)

令和 年 月 日

青森県知事 殿

住 所

氏 名

FAX

業務番号 営委三八八第3205号

業 務 名 八戸工業高等学校（特別・普通教室棟）改築地質調査業務委託

[illegible]

*質問がない場合は、提出の必要はありません

※質問書以外による問い合わせには回答いたしません。

財務部財産管理課

電話：017-734-9156

メール: kenchikueizen@pref.aomori.lg.jp

受 領 確 認 書

令和 年 月 日

青森県知事 殿

住 所 _____

氏 名 _____

電 話 _____ FAX _____

業務番号 営委三八八第3205号

業 務 名 八戸工業高等学校（特別・普通教室棟）改築地質調査業務委託

上記業務委託の回答書を受領しました。

地質調査業務概要

1 業務名 八戸工業高等学校（特別・普通教室棟）改築地質調査業務委託

2 業務場所 八戸市江陽一丁目 地内

3 業務概要

A 一般調査業務

業務	業務箇所数	1			
	ボーリング調査孔数	4			
機械ボーリング	径（mm）	66	86		計
	深度（m）	30	5		
	箇所数	4	1		5
	総長（m）	120	5		125
標準貫入試験	回	120			120
水平載荷試験	箇所数		1		1
室内土質試験	各種				一式

B 解析等調査業務 一式

4 履行期限 令和9年2月2日 まで

5 業務調査年度割

令和8年度		100%
令和9年度		

参 考 資 料

この「参考資料」は、入札参加者が「積算内訳書」の作成を迅速に行うための参考です。

また、業務委託契約書に規定する「業務委託仕様書」ではなく、委託契約上の拘束力を生じさせるものではないことに留意して下さい。

[illegible]

名	称	摘要		単 位	数 量	備 考
A	一般調査	委託数量 N=4.00 孔				
1	直接調査費					
I	機械ボーリング					
i	機械ボーリングΦ66mm					
	土質ボーリング (ノンコアボーリング)	粘土・シルト	鉛直下、50m以下	m	12	
	//	砂・砂質土	鉛直下、50m以下	m	72	
	//	礫混じり土砂	鉛直下、50m以下	m	16	
	岩盤ボーリング (オールコアボーリング)	軟岩	鉛直下、50m以下	m	20	
ii	機械ボーリングΦ86mm					
	土質ボーリング (オールコアボーリング)	粘土・シルト	鉛直下、50m以下	m	5	
iii	サンプリング					
	シンウォールサンプリング	軟弱な粘性土		本	1	
II	サウンディング及び原位置試験					
i	標準貫入試験					
	粘土・シルト			回	12	
	砂・砂質土			回	72	
	礫混じり土砂			回	16	
	軟岩			回	20	
ii	孔内水平載荷試験					
	孔内水平載荷試験	普通 (2.5MN/m ² 以下) GL-50m以内		回	1	
III	室内土質試験					
i	物理試験					
	土粒子密度試験	3個/試料	JIS A1202	試料	4	
	土の含水比試験	3個/試料	JIS A1203	試料	4	
	土の粒度試験	沈降分析(ふるい分析含む)	JIS A1204	試料	4	
	土細粒分含有率試験	試料0.5kg～2kg未満	JIS A1223	試料	4	
	土の液性限界試験	6点/試料	JIS A1205	試料	4	
	土の塑性限界試験	3個/試料	JIS A1205	試料	4	
	土の湿潤密度試験	A法	JIS A1225	試料	4	
ii	力学試験					
	土の三軸圧縮試験	圧密排水試験(CD試験)		試料	1	

内訳a-1 資料整理とりまとめ

名 称	仕 様	単 位	原 設 計 額			備 考	変 更 設 計 額			差 引	備 考
			数量	単 価	金 額		数量	単 価	金 額	増 減	
資料整理とりまとめ	直接人件費（直接調査費）	業務	1								
補正係数	0.040*土質ボ-リング 本数+0.76		0.92								
補正金額	直接人件費*補正係数										
業務当たり金額		業務	1								

※ 土質ボ-リング 本数：4

内訳a-2 断面図等の作成

名 称	仕 様	単 位	原 設 計 額			備 考	変 更 設 計 額			差 引	備 考
			数量	単 価	金 額		数量	単 価	金 額	増 減	
断面図等の作成	直接人件費（直接調査費）	業務	1								
補正単価	0.040*土質ボ-リング 本数+0.76		0.92								
補正金額	直接人件費*補正係数										
業務当たり金額		業務	1								

※ 土質ボ-リング 本数：4

内訳a-3 機械器具等運搬 2t車 2.9t吊

名 称	仕 様	単 位	原 設 計 額			備 考	変 更 設 計 額			差 引	備 考
			数量	単 価	金 額		数量	単 価	金 額	増 減	
材料費	軽油	L	7.8								
労務費	特殊運転手	人	0.34								
機械経費	トラック損料 2t積 2.9t吊	時間	2								
	トラック損料 2t積 2.9t吊（B地区）	日	1								
合計金額											
台・日当たり金額		台・日	1								

内訳a-4 現場内小運搬

名 称	仕 様	単 位	原 設 計 額			備 考	変 更 設 計 額			差 引	備 考
			数量	単 価	金 額		数量	単 価	金 額	増 減	
人肩運搬	総運搬距離 50m以下	t	1.9								
合計金額											
式当たり金額		式	1								

内訳b-1 資料整理とりまとめ

名 称	仕 様	単 位	原 設 計 額			備 考	変 更 設 計 額			差 引	備 考
			数量	単 価	金 額		数量	単 価	金 額	増 減	
資料整理とりまとめ	直接人件費（解析等調査業務費）	業務	1								
補正係数	0.040*土質ボ-リング本数+0.76		0.92								
補正金額	直接人件費*補正係数										
業務当たり金額		業務	1								

※ 土質ボ-リング本数：4

内訳b-2 断面図等の作成

名 称	仕 様	単 位	原 設 計 額			備 考	変 更 設 計 額			差 引	備 考
			数量	単 価	金 額		数量	単 価	金 額	増 減	
断面図等の作成	直接人件費（解析等調査業務費）	業務	1								
補正単価	0.040*土質ボ-リング本数+0.76		0.92								
補正金額	直接人件費*補正係数										
業務当たり金額		業務	1								

※ 土質ボ-リング本数：4

内訳b-3 総合解析とりまとめ

名 称	仕 様	単 位	原 設 計 額			備 考	変 更 設 計 額			差 引	備 考
			数量	単 価	金 額		数量	単 価	金 額	増 減	
総合解析とりまとめ		業務	1								
補正単価	0.020*土質ボーリング本数+0.88*試験種目数別補正係数		1.15								
補正金額	総合解析とりまとめ*補正係数										
業務当たり金額		業務	1								

※ 土質ボーリング本数：4

※ 試験種目数： 5

内訳b-4 打合せ

名 称	仕 様	単 位	原 設 計 額			備 考	変 更 設 計 額			差 引	備 考
			数量	単 価	金 額		数量	単 価	金 額	増 減	
主任技師		人	1.5								
技師A（内業）		人	1								
技師B(内業)		人	0.5								
合計金額											
業務当たり金額		業務	1								

※ 中間打合せ回数： 1